

日韓の芸術文化交流の場を作るための 研究と写真展「媒海」開催

造形短期大学部
造形芸術学科
准教授

シム・ウヒョン



研究シーズの紹介

この研究は福岡県（九州芸文館）と韓国釜山市（釜山文化財団）とのアーティスト派遣交流事業としてアーティスト選出や両国の文化交流事業を民間の立場で支援する研究活動である。

文化芸術に対する多面的、多重性を持つ両国のアイデンティ

ティーを民間交流という実践的な交流の場を作ること、そしてアートという媒体で表現をする事が本研究の目的である。

今年度はCOVID-19により、相手国に派遣できず、制作した作品を相手国に展示をしてもらう事業に至った。



アーティスト交流事業

- アーティストの滞在制作により街活性化に繋がります。
- アーティストの滞在制作により地域の新たな物語が生まれます。



アーティスト選考会議



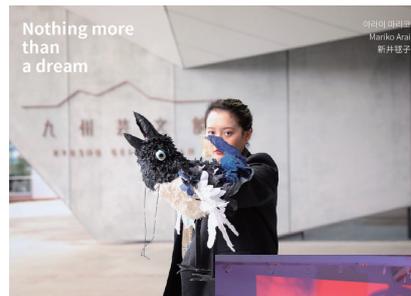
釜山市との事前打ち合わせ



作品制作



作品搬入オンライン指示



韓国釜山市の
展示案内フライヤー

韓国釜山市の
展示風景 (R4.3.27)



期待される活用シーン

- アートを通じて街活性化を考えている自治体や企業



新たな地域の価値や物語が生まれる

九州芸文館アーティストインレジデンスと釜山市ホントイアートセンターとの国際交流